

「こども園 芸術士派遣事業」

『おひるえ』 豊中市立高川こども園（豊中市小曾根4-7-1）

2024年度

- ・実践内容：『おひるえ』生活の中のアート活動
保育の日常の中で継続的なアート活動（探求・表現活動）を行う。
活動の痕跡となる作品は卒園制作として1年間玄関ホールに展示する。
- ・目的：アートの力を活用し、未就学児の非認知能力（頑張る力、協調性、自分で考えて問題を解決する力、発想力などの生きていく力のこと）の形成を促す。
- ・対象： 豊中市立栄町高川こども園（豊中市小曾根4-7-1）
年長2クラス
- ・期間： 9月～2月
10:00～11:00 / 13:00～14:00（全6回 各グループ各回30分）
- ・使用施設：高川こども園（ペンギンルーム・ホール）

おひる絵のじかん :粉絵具ステップアップ

- ①こなえのぐけんきゅうパラパラ
- ②えのぐつくり
- ③えのぐけんきゅうふりふり・命名：あたらしいなまえ
- ④ふでつくり：スポンジふでづくり・ためしふで：みたてて えがいて ひろげる
- ⑤おそうじどうぐ+ローラーでかきぞめためしふで
- ⑥イメージの世界（事前活動：クレパスでドローイング）
イメージの展開（大きな画面と貝殻チョークで協同製作）



・全6回を通して、領域を緩やかに横断すること、日常生活とつなげることを視野に入れた材料の選択とプログラム展開した。同時に、予算を抑えながらも本格的な体験ができること、保育者が再現できることを重視した。

・年長2クラスを各10人前後の2グループに分け、午前1クラス、午後1クラス体制で実施したことでひとりひとりに寄り添うアプローチができた。

・幼児の移動や安全面の配慮、活動の促しを保育士の先生方に行っていた。



おひるえ2024 高川こども園

“えのぐけんきゅうしょ”オープン！

“えのぐけんきゅうしょ”のはかせがやってきた。

けんきゅういんになった、ねんちょうクラスのみんなであそびながら、えのぐのふしぎにであうよ。



概要

第1回 粉絵の具けんきゅう パラパラ

準備：顔料（赤、朱色、青、黄、黄土色、黄緑、紺色）、アイスクリームスプーン（一つの色に一つ）、茶漉し（人数分）、紙（ホールケーキのシート人数分）、ボールに水を少しはっておく

○子どもたちと芸術士のはじめての出会い：2分

メインファシリテーター、サブファシリテーターが研究所の博士として登場した。自己紹介をし、これから絵の具の実験をすること、子どもたちは博士の弟子の研究員になり一緒にいろいろやってみるとい期待感が出てきたところで、今日のプログラムに入っていく。

○えのぐ研究所へようこそ：3分

えのぐについてどのようなものか子どもたちに聞く。えのぐは何でできているか子どもたちに聞く。

「今日は絵の具のもとを持ってきました。はい！これが絵の具のもとです。むかしの人は色のついた土や石やガラスなんかも細かく粉にして絵の具を作っていたらしいよ。

これからこの絵の具のもとを研究して遊ぼう。」

○こなえのぐ研究：グループに分かれ研究開始、満足しおわった子から着替え、まとめ・次回予告、移動時間を含め30分目安

step1.観察（こな絵の具を見る）

こなは細かくて軽いのでそっとさわらないと鼻の中に入ったり、爪の中にはいたり、服の間にはいたりするよ。→そこで、これを使ってみてみよう。アイスクリームスプーンで、紙の上で茶こしに一杯入れる。茶こしをふると細かいこな絵の具が紙に落ちる様子を楽しみながらいろんな色を重ねて、触っているいろいろ試す。固まりは、スプーンを使って漉す。

step2.実験（2人に1つずつ紙と霧吹きをわたし）

「ではこなえのぐが水で変化するかみてみよう。」（実験していこう）まず霧吹きで粉絵具を濡らし変化を楽しむ。ちがう色を足したらどうなるかな。水を増やしたらどうなるかな？絵も描けるね。

おひるえ①こなえのぐけんきゅうパラパラ

2024.9.4

「今日は
えのぐのもとを
もってきました。」



「さあ！えのぐのもとをけんきゅうしてあそぼう」

こなえのぐを ちゃこしで ぱらぱら...



「こなえのぐが みずで へんかするか じっけんしていこう」



「水で色がかわった！」 「きもちいいよ」



ちがういろを かさねたら どうなるかな？



みずを ふやしたら どうなるかな？



こなえのぐのふしぎを
はっけんしたね。

概要

第2回 絵の具づくり/粉絵の具から絵の具をつくる

準備：顔料（赤、朱色、青、黄、黄土色、黄緑、紺色）、レンゲ（一つの色につき一つのレンゲをさしておく）、ボール、（人数の半分）網（人数の半分）、泡立て器（人数の半分）、茶漉し（（人数の半分））、洗濯糊（人数の半数）、バケツに水をはる、雑巾

○えのぐづくり：導入5分、グループに分かれ研究開始、満足し終わった子から着替え、まとめ・次回予告、移動時間を含め30分目安

Step1.前回は思い出してから「さて今日は絵具づくりだったね。」

この道具とこの道具をつかいますが、名前はわかったかな？使い方は、、、今日は二人一組になって絵の具を作ります。協力して作った絵の具がみんなの絵の具になるんだよ。

Step2.ペットボトルでPVAを計量し、ボールに入れる。顔料は、レンゲですくって様子を見ながら網に振り入れる。ダマがなくなるようにまぜる。じょうずにつくるには、、、

「ケーキ屋さんや、お好み焼きを作るときもこの方法で上手にできるよ。」

できた絵の具をは、2人一組で協力して工夫して、ろうとでペットボトルに入れかえます。

「これが絵の具です。次は、世界に一つの色をつくるよ。」

おひるえ②えのぐづくり

2023.9.18

「きょうは、このまえけんきゅうした
いろのもとで
ほんもののえのぐをつくりましょう」



博士とおなじ白衣を
はじめて着た日

せんたくのりを
計量する目も
きりりと真剣に
かがやいています。



「こんなえきたいみたことない」



「においがする！」
「いえで、おてつだいしてるの」

「まえのけんきゅうでは
だいどころでつかうものを
つかいました。
おぼえていますか？」

「ちゃこし」
「スポンジ」



あわだてき
あみ
レンゲ
ボウル
ろうとを
じょうずにつかう
けんきゅういん！
さいこうのえのぐ
ができました

概要

第3回 絵の具けんきゅうフリフリ：あたらしい色 ・ 命名：あたらしい色あたらしいなまえ

準備:机の養生は、1回目から下敷きになっているクラフト紙を使用（作業の痕跡が重なっていくと同時に次回からの造形遊びの土台の紙として毎回使用）。250ミリペットボトルに漏斗と前回作った原色の絵の具を机に置く。濯ぎ用に、机と机の間二箇所壁側に水の入ったバケツや雑巾を配置。

○全身で遊ぶ：導入5分 グループに分かれ研究開始、満足し終わった子から着替え、まとめ・次回予告、移動時間を含め20分目安

Step1 研究員の子どもたちとこれまでできたことを話してもらい思い出して関連や流れを感じてもらおう。「はじめは絵の具の素の粉絵具の実験をして次に絵の具の素と洗濯糊をまぜて絵の具をつくりました。上手にできてすばらしかったね。きょうも台所にあるもので、実験していきます。」

「今日はこの前作った絵の具をボトルに入れて濃い色と薄い色に分けていくよ。みんなで体をいっぱい動かしてシェイクするのでまずシェイク！の練習をします。

立ってシェイクをみんなで練習。ダンスのような遊びになるように。

Step2 自由にあたらしい色を作る。「よく観察しながらつくるう」

○新しい名前：10分

絵具の名前を考える。ラベルシールに自分でかんがえた名前を書き、ボトルに貼り並べていく。

出来たものは並べて、感想や思いを伝え合う。

おひるえ③えのぐけんきゅうフリフリ：あたらしいいろ 命名：あたらしいなまえ

2023.10.9

きょうは じょうごとペットボトルをつかって
シェイクでえのぐをふやすよ。



「まっちゃみたい！」

「下からみたらおもしろい
もようができているよ」

「ほら！みて
きれい」



じぶんたちだけのいろだから
じぶんだけのなまえをつけるよ

「このいろのなまえは？」



たくさんの
あたらしいいろ
あたらしいなまえ
が
生まれました



概要

第4回 ふでづくり ・ ためしふで：みたてて えがいて ひろげる

準備：1センチ角のスポンジ、割り箸、輪ゴム（人数）
マーカー、製作した絵具、下敷きに使っていたクラフト紙
ボンド、こな絵の具パラパラでつくったケーキ台紙は机上

○スポンジ筆づくり：導入10分

筆の試作品を見せて、作って見せる。

みんなで作ろう「できた人は手伝ってあげようね」

○ためし筆とみたて：グループに分かれ研究開始、

満足し終わった子から着替え、まとめ・次回予告、移動時間を含め25分目安

1回目に粉絵の具実験をした紙を木工用ボンドで貼る。ケーキ台紙に広がる世界から自作の絵具と筆で
どんどんイメージをひろげながら絵の具を載せていく。自分の物語とともに範囲を拡げていく。

○感触遊びで描いて拡げる

絵の具の素材感を楽しみながら何が見えてくるかみんなで見つけたイメージを言葉にして共有する。



おひるえ④

ふでつくり・ためしふで：みたてて えがいて ひろげる

2023.10.31





概要

第5回 おそうじ道具・ローラーで白塗り

準備：ローラー、たわし、スキージー、ブラシ等掃除道具
白アクリル絵の具、木工用ボンド

○導入：「いろいろなおそうじ道具で白くするよ!? つかうおそうじの道具は、、、」
研究に満足しおわった子から着替え、まとめ・次回予告、移動時間を含め25分目安

○クリーム（木工用ボンドと白のアクリル絵の具を混ぜたもの）をたらしたら「さあ、白くしていこう～」
伸ばし、こすっているうちに、下の絵の具がとけだし、模様や色を発見し、遊びがふかまっています。

○紙がかわいたら、
クレヨンで大きな紙に大きく書けるよ。

↓

次回イメージの世界ドローイングの事前活動
としてクラスで実施していただく。



おひるえ⑤ おそうじどうぐ+ローラーで白ぬり

2023.11.6



「いろいろなおそうじどうぐで
白くしようか!？」

「おそうじの道具は、、、」



クリームどぼどぼー
「うおー」「うわあー」





「いろんないろがでてきた」

「スポンジ筆もつかってみたい」

「みてみてー絵がかける」



「おりょうりみたい」

「ケーキ屋さんみたい」

「もっとクリーム
くださーい」



「ゆびでへんのかこう」

概要

第6回イメージの展開 大きな画面と貝殻チョークで協同製作

○事前活動：クレパスでドローイングからイメージを広げる

準備：（ホール）

スポンジ筆、PVA、貝殻チョーク、ザル

○協同制作：ホール 午前、午後60分

これまで探求を重ねてきた紙をつなげて

1枚の大きな画面をつくる

「今までいろんなものをつかってかいてきたね...

おぼえているかな？」

「今日は、貝殻のチョークでたくさん実験しましょう。」

「みんなで大きな絵をつくって

園のおともだちにプレゼントします。

どんな世界ができるかな？」



おひるえ⑥

イメージの世界 (事前活動：クレパスでドローイング)

イメージの展開 (大きな画面と貝殻チョークで協同製作)



「ここからまだまだ
イメージをひろげていきます。」

「いままでみんなで作った おおきなかみのうえに みんなのせかいをひろげていくよ。」

貝殻でできたチョーク
なんこのいろがあるかな？
すきないろをつかってかこう。



ざるでチョークをけずって...



「てとてをあわせると
つるつる、さらさら
きもちいいね」



「わー！あしにもしたい」

もっとたくさんの
いろのこなをかさねてみよう



「せんたくのりに、チョークのこな
をまぜるとえのぐになるよ。」

ひとりひとりのアイデアがブームを
おこし、様々な遊びや表現がひろ
がっていきました。



おひるえ

あーとびじゅつかん

「みんなでいっしょにこんなにすてきな
おおきなえをつくることができたね！」

卒園制作として1年間玄関ホールに展示されます。」

